



西幼だより

羽島市立西部幼稚園
令和5年 6月16日 No.6
園長 安藤賢治

卵→幼虫→さなぎ→成虫 興味津々！

◆なでしこの教室には、20年以上前の本「しいく・かんさつ図鑑」があります。



本の最後から引用です。

<生きものを飼う方へ>

●手で触れてみましょう。生きものを飼うという経験の中で、子どもにとってもっともたいせつなのは、手で触れることです。

形や動きは、見ているだけでもわかりますが、重さや皮膚の感触、息づかいなどは、触れることによってはじめてわかります。(・・・と。)

(更に、改訂版には)

一匹の虫をじっくりと見ていると、「なぜこんな形をしているのか」「なぜこんなことをするのか」といったふしぎがたくさん出てきます。一匹の虫だけでそうなのですから、わたしたちのまわりには、かぞえきれないほどの虫の不思議があるわけです。



Q:後藤先生が触れないのは？

カタツムリ
てんとう虫
カエル
ヤゴ
ツマグロ
ヒョウモン
バッタ

ツマグロヒョウモン(蝶々) 元気で、またねえ～



<幼児期の終わりまでに育ってほしい姿> より
(7)自然との関わり・生命尊重

自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探求心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気づき、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることをもち関わるようになる。

幼稚園教育要領 (H29.3)

◆ 始まりは、4月でした！

《カナヘビ》(トカゲとはちょっと違う) 図鑑を見て、住みやすい環境に。エサは、生きた バッタやクモ。捕まえて、与えて・・・の毎日。・・・餌付けができて元気でしたが、逃がしてあげました。



*大人気：た&ひ&な



先生の生き物係は、五十川先生 楽しそうです。

育っていますね～。ご家庭でも...